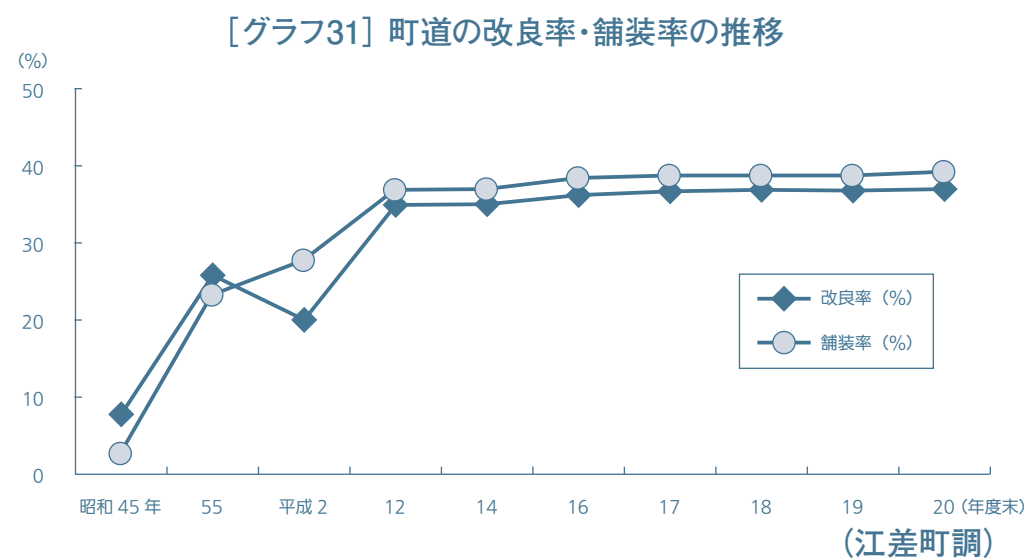


8 道路、河川

現状

- 高規格幹線道路については、当町まで整備が予定されている函館・江差自動車道のうち、北斗中央IC～北斗富川ICについては供用開始しましたが、木古内～江差間の早期事業区間化が望まれています。
- 国道については227号・228号・229号が通っており、全線が舗装改良済みです。
- 道道については4路線が通っており、全線舗装改良済みです。現在、小黒部鰯川線の拡幅改良工事(越前地区、中網地区)が進められています。
- 町道は286路線(実延長168.6km)あります。ほ場内に未舗装の町道が多く、舗装延長65.8km、舗装率が39.0%と管内平均の51.6%を下回っています。
- 農林道は、耕地1haあたりの農道延長は5.6m、平成19年度末の林内道路密度は林野1haあたり10.5mとなっています。



[表9] 道路整備の状況(平成21年4月1日現在)

区 分	道路延長 (km)	改 良 済		舗 装 済	
		改良 (km)	改良率	延長 (km)	舗装率
国 道	16.0	16.0	100.0%	16.0	100.0%
道 道	14.2	14.2	100.0%	14.2	100.0%
町 道	168.6	62.3	62.3%	65.8	39.0%
合 計	198.8	92.5	46.5%	96.0	48.3%

(道路施設現況調査)

二級河川

	河川名
1	厚沢部川
2	田沢川
3	鰯川

普通河川

	河川名		河川名
1	椴川	7	泊川
2	古櫃川	8	真狩川
3	五勝手川	9	田沢川
4	陣屋川	10	小黒部川
5	茂尻川	11	鰯川
6	豊部内川	12	五厘沢川

課題

- 道路の多くは海岸沿いに整備されているため、海岸部の越波対策や急カーブによる視界改良の必要な箇所があります。
- 小黒部鰯川線の未施行区間の継続施工を促進する必要があります。
- 改良舗装が必要な路線が多く、特に市街地は住民生活に大きく関わるだけに、計画的な改良整備や維持補修を図る必要があります。
- 国道整備後、町道移管となった陣屋椴川線は、沿線に集落があり生活路線(バス路線)でもあるため、国道被災時における代替道路もふまえて道道昇格による整備が望まれています。
- 町道基栄橋線は、二級河川厚沢部川の河川改修工事に伴い、架替工事の必要性が急務です。

課題解決に向けた基本方針

- ・ 高規格道路、国道、道道の整備促進のために関係機関に要望を継続します。
- ・ 町道の整備、維持管理により、現状の水準の確保を図ります。
- ・ 橋梁の長寿命化を進めます。

具体的な施策

高規格幹線道路の整備促進	・ 木古内～江差間の高規格自動車専用道の早期事業区間化の促進
国道の整備促進	・ 国道228号、椴川～柏町間の歩道整備 ・ 南浜地区の越波対策の促進
道道の整備促進	・ 小黒部鰯川線改良工事の事業促進 ・ 陣屋椴川線の道道昇格事業化の促進
町道の整備	・ 市街地道路の改良 ・ 市街地道路のバリアフリー化 ・ 町道の維持補修 ・ 町道橋の基栄橋の架替 ・ 橋梁の点検、補修
河川の改修	・ 河川改修の推進(2級河川厚沢部川・田沢川、町管理の普通河川など)